

# 令和4年度事業計画書

令和4年3月4日

公益財団法人 名勝依水園・寧楽美術館

## 令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）事業計画の概要

令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルスが終息、拡散の繰り返しとなり、国外からの観光客が全く見込めない状況が続いた。国内からの観光客についても、秋の紅葉時期に昨年を上回る入園者数となったが、年間を通しては低調であった。令和2年度は全国的な新型コロナウイルスの蔓延により、4月・5月に一時閉園、閉館を行った。令和3年度については、5月19日より11月の紅葉の時期、「依水園のひなまつり」を除いて、火曜日の定休日のほか、水曜日を臨時休園日とした。令和4年度は、令和3年度より事業環境は良い方向に向かうと思われるが、現状をみると予断を許さない状況が続いている。令和3年度同様基本的には、庭園、美術館のハード面、人的なソフト面の質を落とすことなく、昨年度事業をベースに随時見直しながら令和4年度の事業を遂行し、新型コロナウイルスの終息時に向けて、満を持したい。

### 1. 庭園事業について

庭園事業では、文化庁他の補助金による整備事業の完了後、自らの費用と補助金により、維持しながらの公開が5年を経過した。増加を続けていた海外からの入園客は、平成31年度をピークに新型コロナウイルスの影響により、令和2年度、令和3年度はほぼゼロとなったが、依然旅行サイトの観光施設の評価では、外国人を含め高い評価を継続している。令和4年度以降もこの評価を維持するため、令和3年度に引き続き庭園、建家の保安全管理の維持向上を図り、9月下旬および12月末から1月中旬に庭園整備のための休園期間を設ける。また、文化庁他の補助金による防災施設の整備事業を行う。なお、平成27年度より開始した庭園整備特別準備金の積立については、収支状況から令和3年度同様難しい面はあるが、令和4年度以降も継続していく予定である。

#### (1) 補助金事業

令和2年度は、柳生堂の屋根葺き替え、蔵の修理の補助金事業を実施し、令和3年度は令和2年度に引き続き柳生堂の屋根葺き替え事業を実施した。令和4年度は、消火施設等防災工事の補助金事業申請を行い認められた。

事業費 23,000千円

(内訳(予定) 11,500千円が文化庁補助額、2,300千円が県補助額、2,300千円が市補助額、6,900千円が当財団負担額)

### 2. 美術館事業について

#### (1) 展覧会

##### 【前期展】

テーマ：「きこえる美術」(仮称)

概要：水や木の葉の揺れる音、湯の沸く音、人や動物の声、楽器の音、静寂を聴き取る感覚…。そのよ

うなさまざまな「音」を感じさせてくれる美術作品をご紹介します。視覚をはたらかせ「見る」先に「音」を感じ、想像する自由は人それぞれのものである。耳を澄ませて楽しんで頂く。

会 期：4月7日(木)～7月25日(月) 95日間

(注1) 火曜日定休 但し5/3(火・祝)は開園・開館、5/6(金)は休園・休園

(注2) 水曜日臨時休園・休館継続の場合、全81日間(5/4(水・祝)の振替休園は実施しない、6/1(水)は依水園開園記念日のため開園するとして)

展示内容：(企画室) 青銅鐘(西周後期)、貴妃横琴図 田能村竹田(江戸時代)、養老図および孝子像 加納鐵哉(大正時代)、麟訪亀龍 石川丈山(江戸時代) ほか  
《展示数 25点》

(常設室) テーマを設けず収蔵品中の優品を紹介する

◆特別陳列 重要文化財 田能村竹田 亦復一楽帖 第三図「屏居山中」  
展示期間 4月7日(木)～22日(金)

### 【後期展】

テーマ：「焼き締め」(仮称)

概 要：寧楽美術館所蔵の焼き締めと、その源流とも言える硬質土器等を紹介する。

会 期：8月11日(木)～12月25日(日) 112日間

(注1) 9月21日(火)～27日(火)は、庭園整備期間として閉園・閉館。

(注2) 美術館は、令和5年1月～3月末迄、庭園整備及び下記イベント等開催のため閉館とし、その間学芸部は美術品の資料整理及び次回展示の準備と研究期間とする。

展示内容：(企画室) 焼き締め、硬質土器等 (備前一重口水指、伊賀耳付花生、須恵器蓋杯 ほか)  
(常設室) テーマを設けず収蔵品中の優品を紹介する。

◆特別陳列 重要文化財 田能村竹田 亦復一楽帖 第四図「山居四月」  
展示期間 11月2日(水)～17日(木)

### (2) 美術品の修復

開館55周年(2025年)記念展に向けて所蔵美術品の修復事業積立を実施中であるが、新型コロナウイルスの影響、財団の運営状況や修復の緊急性を鑑み、開館60周年(2030年)を目標に計画を変更し、修復事業を進めることも検討したい。

### (3) 美術品の貸出

今年度貸出予定はない。

### (4) 所蔵品の写真撮影

所蔵品の中で、公に使用できる写真データが少ないので、今後、貸出及び掲載のため、定期的に写真撮影を実施し、所蔵品写真データの蓄積を計りたい。

### (5) その他

#### ① 寄贈作品の評価額設定調査

詳細は未定

#### ② 閲覧希望対応

作 品：「天堯神識碑」

依頼者：相模女子大学 日本語日本文学科 下田章平准教授

時 期：令和4年4月10日（日）

### 3. 催しについて

#### (1) 開園記念日

時 期：令和4年6月1日（水）

入園料金：500円

平成27年度より開始した、6月1日の開園記念日を割引料金とする企画を今年度も継続して実施する。この日の恒例となっている当財団敷地内三秀亭での煎茶美風流家元中谷美風氏による、入園客に煎茶道を体験して頂くイベントについて、令和2年度、令和3年度は中止したが、新型コロナウイルスの状況によっては、開催の検討をしたい。

#### (2) お茶室見学会

時 期：令和5年2月初旬

参加費：未定

平成25年より例年2月に奈良市主催で開催されている珠光茶会にあわせて、園内の茶室を公開する「依水園お茶室見学会」を開催している。通常公開していない建物内部を見学できる機会として好評を得ているので、今年度も継続したい。

#### (3) 依水園のひなまつり

時 期：お茶室見学会終了後～3月6日（月）予定

場 所：立礼の間・藤の間

内 容：詳細は未定

平成31年2月より開催している、当財団への寄贈品の曲水の宴の平飾りのひな人形等を展示する「依水園のひなまつり」を、今年度も引き続き開催する。

#### (4) 奈良工芸の粋

詳細は未定

平成29年度より毎年3月に奈良新聞社が主催する、「奈良工芸の粋」展の会場として当園の美術館、主屋、茶室等を貸出し、奈良漆器、赤膚焼、一刀彫等の奈良の工芸品の展示、販売、茶席開設に協力している。今年度も奈良工芸の発展を支援するため継続協力する。

#### (5) 庭園大研究会

月1回、庭師の人材育成のために開講している「庭園大研究会」を今年度も継続して開催する。

### 4. その他

(1) 職員による庭園案内は、新型コロナウイルスの影響、状況をみながらの実施とする。

(2) 令和2年末より開始したTwitter、Facebookは、タイムリーな情報を継続発信する。

以 上